



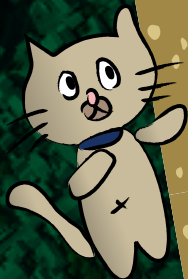
クイズ

昔の地図と
今の写真を見比べて、
気づいたことはあるかな？



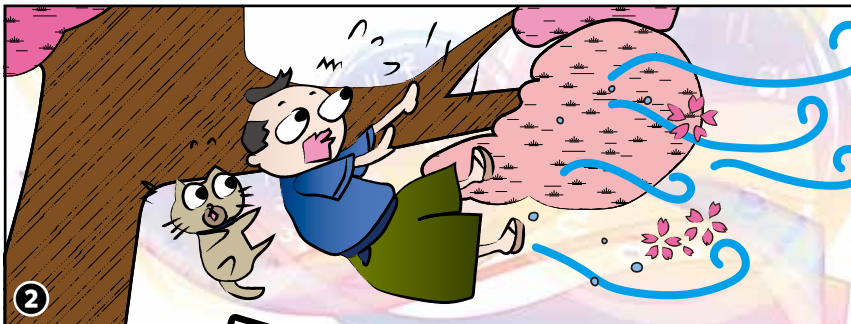
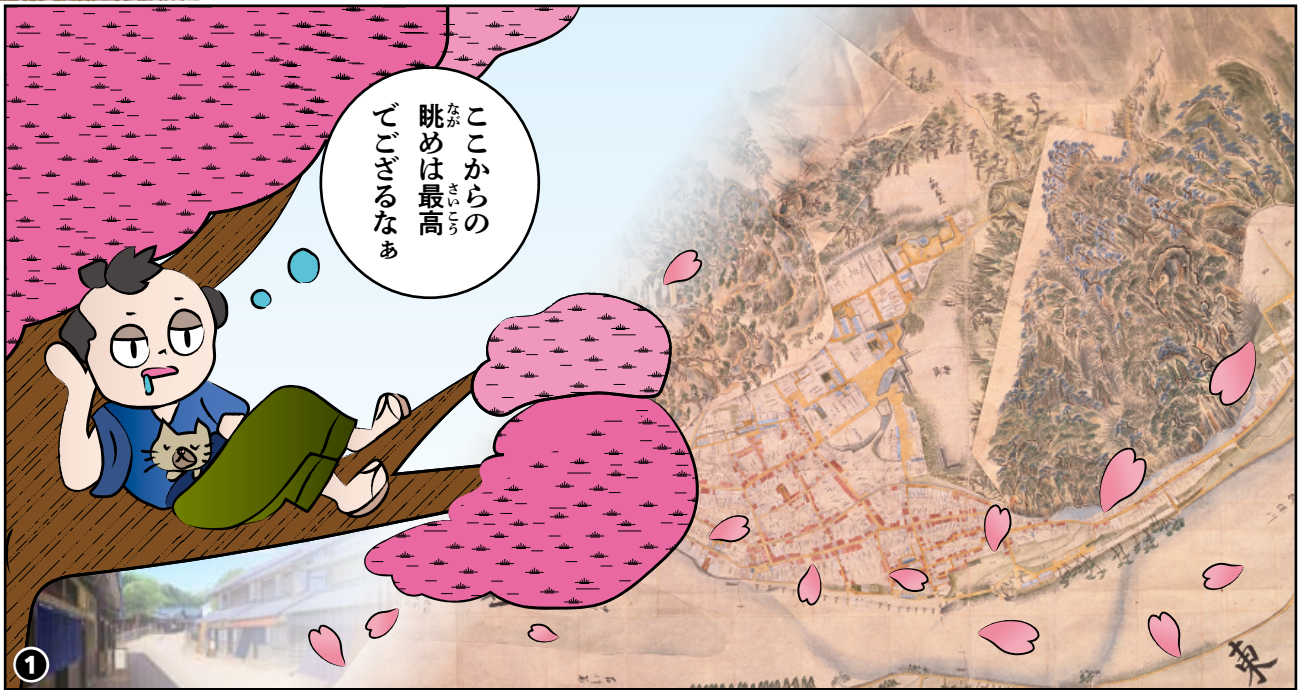
じゅう・でん・けん ハンドブック

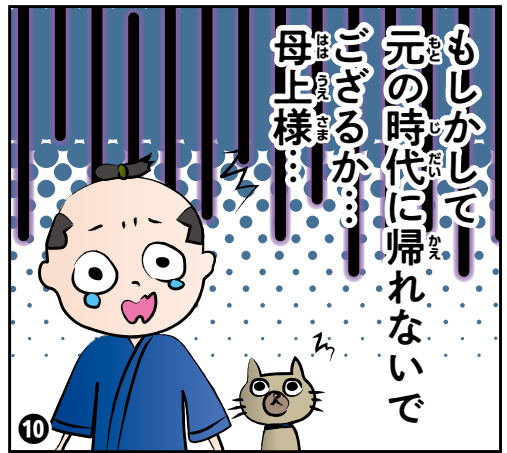
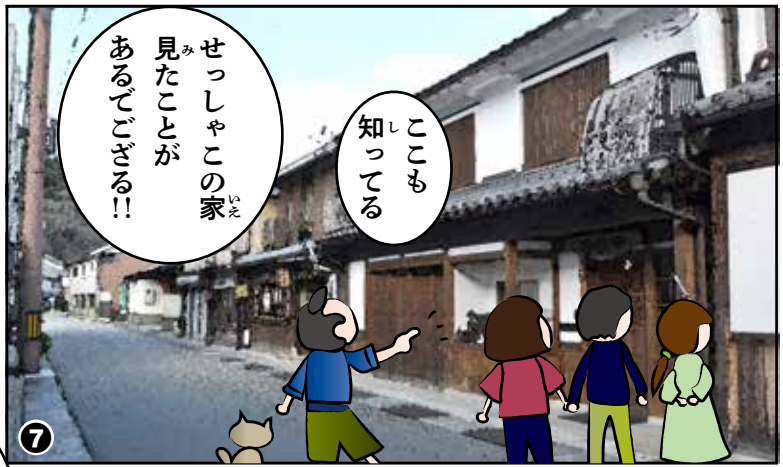
で
出かけよう みんなで たつのじゅうでんけんちく
龍野重伝建地区へ



よ え ど じ だ い 世は江戸時代

それがしは、脇坂龍野助というものでござる。
たつの じょうしゆ わきさか どのさま あどつ
 龍野城主脇坂の殿様の跡継ぎ...ではござらんが、
りつぱ ぶし
 立派な武士になれるよう頑張っているでござる。
きよう せうちよう けいこ
 今日も早朝から稽古でつかれたでござる...
ばしよ ひるね
 いつもの場所で昼寝でもするでござる。







これは本瓦。江戸時代から使われている瓦らしいよ。脇坂さんの時代だね！



せっしゃの家と同じでござるな。たくさんの瓦が使われていて立派でござる。ただ、大風の日に丸い瓦がズレるのが悩みでござる…。



これは棧瓦。本瓦を簡易にした瓦らしいよ。龍野では明治時代くらいから使われるようになったんだって。

これなら壊れた時に直す数が少なくてすむでござるな！その分でお団子を買ってもらえるかも…フッフ♪



これはガラス窓。私たちの家でも使われている窓だけど、この家は小さなガラスがたくさん使われていて不思議だね！



ビードロの窓でござるか！せっしゃがたくさん映っていて目が回るでござる～



※ビードロ：ガラスの古い呼び名



これは卯建。近くで火事があった時に、ほのおから家を守ってくれるそうだよ。

他にも屋根からドロボウが入ってきづらいようにする役割もあったでござる。やって来てもせっしゃが退治するでござるがな！





これは駒寄。人や馬が家にぶつからないようにするために置かれていたらしいよ。



駒寄には牛が繋がれていることもあったでござるよ。棒でつついてよく飼い主におこられたでござる…。



こまよせ
駒寄



むしこまど
虫籠窓



これは虫籠窓。虫を入れるケースに形が似ているからそう呼ばれているよ。同じ虫籠窓でも町の中にはいろんな形があるみたいだよ



花の形や四角などいろんな形の窓があるでござるな。
むむ？この家の窓…見覚えが…



もしやこの道をずーっと行った先を北に曲がると、藩校（学校）があるのではござらんか？



すごい！そのとおりだよ！
なんで学校があるって分かったの？



それはせっしゃの時代にもこの家があったからでござる！
…はて？ということはずっと町の形が変わっておらんということではござるか？

きんぞくこうし
金属格子



先生やお家の方と読んでみましょう。
龍野は町ちゅう美術館
ふしぎなデザインがいっぱい
龍野の町には、ふしぎなデザインの伝統的な建築物がたくさん残っています。
例えば、家の前にある格子です。太いものと細いものを交互に並べる家もあり、同じ太さのものを並べる家もあります。材質も木製や金属など様々です。
道から見える屋根裏部分では、木材がそのまま見えているものもあれば、白色に塗っているものもあります。
一見すると同じように見える建築物も、視点を変えて見ると、個性豊かでふしぎなデザインがいっぱい隠れています。
現代の住宅と同様に、当時の流行が反映されていたのかもしれませんが、先人の暮らしを想像しながら、ふしぎなデザイン探しに、龍野の町へ出かけてみませんか。

コラム 1



そうそう！脇坂さん、いいところに気がついたね。
龍野の町には脇坂さんの時代の町並みがたくさん残っているんだよ。



だから、どことなく知っているような気がしたのでござるな。
まさか未来の世界で、知っている町並みに出会えるとは思っていなかったでござる。



他にも何か残っているものはあるでござるか？



もちろん！町並みだけでなく、産業も受けつがれているよ。
醤油などを製造する施設も残っていて、龍野はうすくち醤油
発祥の地と呼ばれているんだよ。

なるほど。町並みだけではなく、産業も受けつが
れているのは、うれしいこととござるな。



脇坂さんの時代から続く商家や醸造施設がたくさん残っている
ことが認められて、この地域は、国の「重要伝統的建造物群保
存地区」に選ばれているんだよ。



※醸造：発酵作用を応用して酒や醤油やみそなどを製造すること。



「重要伝統的建造物群保存地区」はね、現代に残っている歴史的な町並みや
集落を未来に渡って大切に保存していこうっていう地域なんだ。



「重要伝統的建造物群保存地区」略して「**重・伝・建**」！

「重・伝・建」とは、この町に暮らす人たちがつないできた、時代をこえた宝物でござるな！



コラム 2

先生やお家の方と読んでみましょう。

龍野伝統的建造物群保存地区
歴史を感じる古い町並み

龍野城下町の一部は、伝統的な建築物をみんな未来に渡って保存しているというエリア「伝統的建造物群保存地区」になっています。

このエリアは「龍野伝統的建造物群保存地区」という名称で、「伝統的建造物群保存地区」の中でも価値が高いエリアとして、令和元年12月23日に国の「重要伝統的建造物群保存地区」（略して「重伝建地区」）に選定されました。エリア内には、江戸時代から昭和初期までの建築物が約400件残っていて、200年近く前の形状（町割※1、地割※2）がほとんど変わっていません。龍野の町を歩けばタイムスリップした気分を味わえるかもしれませんよ。

たつの市内にこのようなエリアがあることは、先人はもちろん、現代に生きる私たち、未来を担う子どもたちにとっても、誇らしいことです。

※1 町の形状
※2 建築物の間口の幅



たくさん^{ある}歩いてつかれたたでござる～



たくさん^{ある}歩いたもんね。



げんだい^{たつの} 町の^{まち} 龍野の町を歩いてみてどうだった？



さいしよ^{ふあん}最初は、タイムスリップして不安だったでござるが、^{まちな}町並みも^{さんぎよう}産業も受けつがれて、おどろきとうれしさでいっぱいござる。



^{まち} 町の人^{ひと}がやさしいところもしっかり^う受けつがれていてござるな。



わたし^{わきさか} 私たちも脇坂さんと一緒に歩いて、^{いっしょ} 龍野の町^{ある}の^{たつの} 町の^{まち} 良いところを^{さいはっけん}再発見できたよ。



たつの^し 市にこんなにすばらしい^{ちいき}地域があるのって、^{じまん}自慢だね！



せっしゃもほこらしいでござる！



あれ！？^{わきさか} 脇坂さんの^{からだ} 体が^{ひか}光っているよ！



もしや、またタイムスリップでは！？



^{もと} 元の時代^{じだい}に帰れるのはうれしいでござるが、^{わか}みんなとの別れはさみしいでござる～



^{わきさか} 脇坂さ～ん！！^{げんき}元気でね～！！



これからも^{たつの} 龍野の町並み^{まちな}を^{たいせつ}大切に^{まも}守って^{いってほしい}いってほしいでござるよ～



^{たいせつ} 大切に^{まも}守っていくよー！^{あそ}また、^き遊びに来てねー！



こうして、^{わきさか} 脇坂さんは、^{ぶじ} 無事に^{もと} 元の時代^{じだい}に帰れたのでした。
^{わきさか} 脇坂さんの時代^{じだい}をこえた大冒険^{だいぼうけん}で、^{たつの} みんなも龍野の町^{まち}のいいところが^{はっけん}発見できたかな。

^{わきさか} ※脇坂龍野助^{のすけ}さんは^{かくう}架空^{じんぶつ}の人物^{じんぶつ}で、^{じつざい} 実在^{じんぶつ}していた人物^{じんぶつ}ではありません。



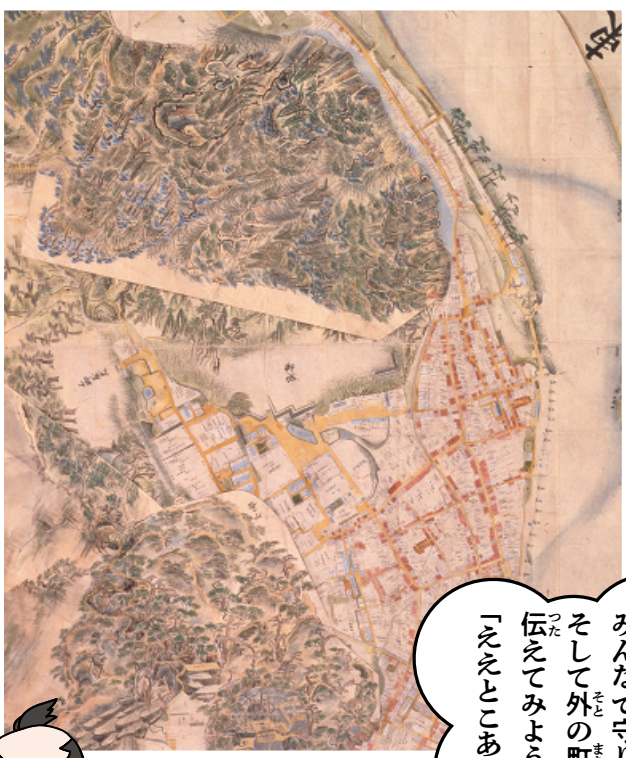
脇坂さん、元の時代に帰れてよかったね。
 脇坂さんと子どもたちの『龍野重伝建地区』探検を見てきて、
 気づいたことや感じたことはあるかな？
 さあ、みんなで話し合ってみよう！

さいごに、
 表紙のクイズの
 答えはわかったかな？
 昔の地図と今の写真を
 見比べて、
 問題に答えてみよう！

気づいたこと、感じたこと



龍野重伝建地区は、江戸時代から
 現在まで()が
 変わっていない！



「町並み」「町割」「地割」と
 書いた人も、
 それ以外の町の魅力を書いた人も
大正解！
 江戸時代からの町並み、町割、
 地割が現代まで残っているのは、
 住んでいる人たちが大切に
 守ってきたのももちろん、
 龍野の町に関わってきた人たち
 みんながルールを決めて
 町を大切にしてきた結果なんだよ。
 たつの市だけでなく、
 日本の宝になっている
 龍野の町をこれからも
 みんなで守りつないでいこう。
 そして外の町の人にも
 伝えてみよう。
 「ええとこあるぞー！ たつのー！」



たつの市
 ホームページ